

令和7年度可茂地区小・中学校家庭教育学級リーダー研修会・アンケートより

先日のリーダー研修会、大変お世話になりました。お忙しい中、アンケートにご協力いただき、ありがとうございます。皆様からいただいたご意見を紹介させていただきます。

東白川中学校様の実践について、ご意見・ご感想をお聞かせください。

- *素敵な実践、大変参考になった。取り入れていきたい。
- *少人数の良さをいかした密なつながりを感じた。
- *今の時代、とても大事だと思う。親子参加型の講座はとても良いと思う。
- *情報モラルについては、今の時代とても必要な事で、親がルールを確認できる場所は、貴重だと思った。
- *親子で約束を作る取組は素敵だなと思う。
- *子どもと一緒にルールを見直すことが大切だと思った。
- *親子での研修は、共通の話題になるので、家庭での約束作りのきっかけとなりそう。
- *親子で情報モラルについて考える機会があるのは良いなど。親だけの講座はよくあるが子どもと同じ講演を聴く講座も参考にしたい。
- *「親子」というところがポイントだと思う。親子で一緒に考える、話し合うといった関わりを大切にしたい。素敵な実践だった。
- *情報モラルについては、やはり親子で共通の学びの場が必要だと感じた。参考にして、本校のPTAでも取り入れていきたい。
- *情報モラルは、本校も行うが、親子での情報モラル教室も良いと思った。
- *家庭でのルールをつくる話し合いをもつことの大切さが理解できた。
- *東白川中の講演会を聴いて、家庭で交流することが大切だと感じた。
- *情報モラルは、ここでしか得られない学びの場として、必要なものだと感じている。これからとても重要になってくるので、私もぜひ学びたい。
- *スマートフォンやSNSが身近な存在となっている今、親子で情報モラルについて考える機会はとても意義深いと思う。東白川中学校の「親子情報モラル教室」は、子どもたちだけでなく保護者も一緒に学ぶことで、家庭内でのルール作りや話し合いのきっかけになる良い取組だと感じた。
- *情報モラルについては、親子で一緒に考えていくことがやはり大切だと思う。家庭教育学級の中で、今後考えていきたい。
- *SNSやスマホの使い方など、実生活で困っている事を親子で習って共有出来る事が素晴らしい。
- *親子で参加することで、お互いのズレを改めたり、家に帰ってからそれについてまた話したりできるところがよいと思う。学校とも相談しながら今年度、進めていきたい。
- *学ぶべき内容として情報モラルを取り上げている点と、親子参加にして対話を通してルールを話し合う機会にされている点が参考になった。教育委員会とのタイアップも素晴らしいと思う。
- *授業参観に合わせて開催し、授業として講座を取り入れるという発想はなかったので驚いた。活動に参加出来ない親子や家庭をどのように巻き込むかという課題に、何か解決策が見つかったら共有してもらいたい。
- *親と子で同じことを学び、その上でルールを決めるのはよいと思う。情報モラルだけでなく、同様な形で学んだことを話題にして家でのルール作りができるとういと思う。
- *親と子で同じことを学び、その上でルールを決めるのはよいと思う。情報モラルだけでなく、同様な形で学んだことを話題にして、家でのルール作りができるとういと思う。



- *「情報モラル」は学校だけでは指導しきれないことなので、今後どこかで取り組んでいきたいと思う。
- *スマホを与える最初に、親子でどう使うかなどのルールを決める、どんな危険があるかをしっかりと話し合う事が大事だと思った。
- *情報モラルについての学びは、何回聞いても良い活動だと思う。
- *わが家は私もスマホを見てしまいすぎなので、タイムロックコンテナなども活用していこうかと思った。
- *情報モラルは、学校だけでは指導しきれないことなので、今後どこかで取り組んでいきたい。
- *少人数校ならではの実践で、少し羨ましく感じた。親だけが聴いても子どもに伝えにくいし、子どもだけが聴いてもどう捉えたか分からないので、一緒に聴いて話す機会はいいなと思った。
- *自校でも、情報モラル教室を実施している。デジタル社会の今、子どもたちに知識として教えるのはとても大事だと思う。
- *最近親の方が使い方がわからなかったりするので、親の知識にもなると思う。
- *情報モラルは、今の子どもたちを取り巻く社会を考えれば、早いうちから教えていかなければいけないことだと思う。
- *知らないために人を傷付けたり、自分がトラブルや犯罪に巻き込まれたりしないように、きちんと知らせることは親を始め、社会の責任だと思う。
- *「今日的な課題」について親子で考える時間を作ることは今後、本校でも続けていきたい。
- *情報モラルは子どもだけが学校で聴いているが、親と一緒に参加することによって更に意識が高まりそうだと感じた。
- *親子で講座を聴いて、その場で親子で話し合うのは、ぜひやりたい講座の形。ただ自校の場合、大規模校なので人数が多くなってしまふなどの問題点もある。学年を絞る等して取り入れることができたらと思う。
- *子どもが知っているだけではあまり効果のないものもあるので、親さんが率先して考えていただけるのはとてもありがたい。
- *情報モラルは、近年、親の方が情報が薄くなっている。勉強していくことが必要だと思う。
- *中学校だけではなく、小学校でも親子で考えるとよいと思った。
- *情報機器に接することは、子どもも大人も日常生活の中で大きな位置を占めているが、そのリスクの認識には差がある。“親子”で危機感を共有したり、他の家庭のルールを知ったりすることは、子どもにとっても保護者にとっても大変参考になり、実効性のあるスタイルだと思う。
- *子どもと保護者と同じ内容について学び、一緒に考えることができる、大変良い取組と感じた。
- *親子で共に参加できる講演会は、家庭で共通の話題として子どもと振り返りができるので、我が校でも何かできないか考えてみたい。
- *本校は現在、在宅型の取組は無いので、家族ルールの実践は少しでも取り入れていきたい。
- *地域の特徴を活かすと魅力ある活動になると思った。
- *東白川中学校の家庭教育学級は、保護者同士のつながりも生まれる、参加してよかったと感じるものだった。
- *東白川中の発表は、同じ中学校としてぜひ参考にさせて頂きたい。
- *ぜひ今後、家庭教育学級に参加してみたいと思った。



ご協力ありがとうございました!